



素顔の阿蘇を探す旅。

“蘇”はすべての原点。“生”は鮮生。
阿蘇は原点に戻って復活する場所。
素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。



大陸

ASO Continent

のんびり ゆっくり 阿蘇町をいく

阿蘇カルデラツーリズム×内牧タウンツーリズム



阿蘇町が元氣だ。内牧商店街を中心にわくわくするような空気がそこかしこに満ちている。開湯100年を超える歴史ある温泉地・内牧は、今、「うちのまき案内人協会」という若い力がまちの新たな魅力をつくり出し、そのエネルギーは乾いた大地に水が染み込むように内牧商店街を浸透しつつある。また、かつて「36坊52庵」といわれるほど多くの寺院が立ち並んだ一大仏教地帯であった歴史のまち坊中も、その魅力を少しずつ表現しようとしている。その元氣の源を探る旅に出た。

小さな水草が集まって「島」を形づくるように チャレンジを重ね、再出発を図る町



「内牧歩きツアー」で最初に案内される国勝右馬允可重の墓所からの眺め。町と豊かな自然が一望できる。



加藤右馬允可重の墓所がある丘の中間から発見されたお地蔵様。堂くじの神様「福の神」としてまつられている。

阿蘇町に「歴史のない博物館」をつくる

手前にある杉林の深い緑。その先に広がる田園の鮮やかな緑。そしてさらにその向こうにかすむ山々の淡い緑。内牧はなな阿蘇県北側に位置する、内牧城代加藤右馬允可重かとうらまのじょうよししげの墓地がある高台からは、阿蘇町が一望できる。

この美しい田園風景や農村の伝統文化をもっと魅力的に整備し、都市との交流を盛んにしようというプロジェクトがある。それが農林水産省の「田園空間整備事業」だ。平成11年、この事業を始めた阿蘇町は、史跡や自然風景地などの整備を積極的に進めてきた。

もちろん、場所を整備するだけで阿蘇の魅力が都市の人に感じてもらうことは難しい。整備された御説や場をどう活かすか、地外の人々どう交流していくか。いわば「ソフト面」の整備も阿蘇町は怠らない。それが、「みんなであつこうー」屋根のない博物館をキヤッチフレーズにした阿蘇町オリジナルの「田園空間博物館」構想だ。

「B級グルメ」の「最先案内人誕生

「歴史のない博物館」構想の一環として、今年4月に行われた「阿蘇町内牧歩きツアー」である。実験は、ガイドに選ばれた参加者たちが、飲食店や菓子店での試食をメインに、史跡や町湯などあわせて50数ヶ所をほぼ一日かけて歩くというもの。かなりのハードスケジュールだったが、参加者は終始笑顔。そのほとんどが「内牧がこんなに楽しいところだとは知らなかった」という感想が聞かれたのである。

このときの案内人の一人、簡易宿泊施設「阿蘇ライダーハウス」を主宰する吉澤寿康さんは、「参加者と一緒にガイドとして歩いて感じたことは、内牧は観光客が満足できる要素はしっかりとあるけれど、それが一般の人にはとてもわかりづらいということなんです。そこで、ガイド役をした10名のうち8名が案内人となり、自然発生的な形で「うちのまき案内人協会」が誕生、食べ歩きツアーを一度きりでなく、連年で行ってほしいというところになった。吉澤さんの言う「B級グルメ」が



鉄道「美東がえり」の口ヶ地も案内コースにある。ガイドの吉澤寿康さんは、以前旅行会社のツアーガイドというだけあって、おしゃべりもプロ並み。ツアー中は参加者の笑いが絶えない。



食べ歩きツアーの立ち寄り所にはおいしいものがたくさんある。から揚げのほか、おまんじゅう、ケーキ、お酒の試飲も。



「Gyaufuri-GEN」のオーナーで写真家の竹原直樹さん。店内には竹原さんが撮影した阿蘇の30種の名産写真が飾られている。阿蘇を愛する芸術家の一人だ。



「Very Happy Shake」。オーナーお手製のブルーベリーソースやジャムに良質な濃厚なバニラアイスがたっぷり。500円。あっさりとした優しい味わい。



営業を再開した直後よしなみ。ご主人高野秀明さんは「お客様がいないから、自分の採用を知りたい人には話にでも聞きたい」と、この夏「お菓子作り体験教室」も始めた。

ここで生まれた子どもがここで夢をもつて夢を叶えるように

写真家の竹原直樹さんが営むカフェ「Gyaufuri-GEN」も、「Toma」とベリーな街づくりの参加店。期間中オリジナルのデザート「Very Happy Shake」が登場した。阿蘇産のブルーベリーで作ったソースやジャム、そしてブルーベリーそのものをたっぷりとのせたデザート。地元で、普通の店に観光客を呼ぶには、とまそからものを持つてくるんじゃない、阿蘇のブランドを大切にすることが大事だと思います」と竹原さんは言う。

「Toma」とベリーな街づくりの名前はトマトとブルーベリーを意味するだけではない。「Toma」と泊まったら、止まったらベリークッドな街づくりという意味がある。だから、季節が変わり素材が変わっても同じ名前を続け、息の長い取り組みにしたいと、関係者はずっと先の将来まで見据えている。ここで生まれた子どもがここで夢をもつて暮らしている町にしたい」とは、Gyaufuri-GENの竹原さんの言葉だ。

お菓子を作ったらとても喜んでくれて、最近内牧でも、若い人がいるが、はなはなと来てくれるけれど、私もちょうどつとやってみようかと思つて、今回「Toma」とベリーな街づくりに参加。あっさりとした甘さの「トマトのロールケーキ」や「ブルーベリー」のケーキを販売した。遊び心で作ったけど、評判は良かったよ。吉野さんの笑顔が、内牧の再興を物語る。

かつて、大勢の温泉客にあふれかえった内牧。まちは今、小さな水車が少しずつ結びついてやがて大きな島を作るように、人々や農業従事者が手をつなぎ、大きなパワーとなつて再出発の時を迎えたようだ。



「Toma」とベリーな街づくりに参加している阿蘇産店の「Toma」とジュース。朝どりのトマトをそのまま使った濃厚なおいしさ。ビールや牛乳割りもお勧め。



ところが、ガイド付きのツアーの良さを十分に認識しながらも「自分の好きなように見てまわりたい」というのも観光客の正直な気持ちである。今はまだ、案内人がいないと内牧の良さは外部の人にはわかりづらいんです。でも観光客のそういったニーズもよくわかる。そこで、案内人協会が「Toma」とベリーな街づくりを推進したわけなんです」と吉野さん。

「Toma」とベリーな街づくりとはトマトとブルーベリーをテーマにしたイベントで8月に開催された。内牧の宿泊施設や飲食店、菓子店や書店までもが参加し、期間限定でトマトやブルーベリーを使っ

たデザートを提供したり朝どりとマトやブルーベリーを販売したり。それぞれの販売の特色を活かしながら、阿蘇の特産品をPRするというものだ。このイベントに参加した全ての宿や店舗の前には「Toma」とベリーな街づくりの名を書いた看板が置かれ、ふらりとやってくる観光客に「わかりやすさ」と「入りやすさ」を演出した。

「食べ歩きツアーに参加するのはちょっと面倒だなという人も、「Toma」とベリー」の共通の看板を見れば、「お、なんかおもしろそうなことやってるぞって思うじゃないですか。そして、その看板があれば、案内人がなくても店に入りやすいですよ」。

一つの特徴だけに集中せず、そこに見える別のニーズにも対応していく。縦に伸びるのではなく、横に広がるイベントプロデュースが重要だと吉野さんは言う。それは地域全体にも言えることなんです。宿は増え、飲食店は飲食店だけで固まる産別組織ではなく、農家から始まって、宿泊施設や飲食業も一緒に作った横のつながり。それをしっかりとつくる。それが、町の良さを「わかりやすさ」にする。そしてそれが観光客を呼ぶことになると思っています。

「食べ歩きツアー」に参加するのはちょっと面倒だなという人も、「Toma」とベリー」の共通の看板を見れば、「お、なんかおもしろそうなことやってるぞって思うじゃないですか。そして、その看板があれば、案内人がなくても店に入りやすいですよ」。



食べ歩きツアーの立ち寄り所でもあり、「Toma」とベリーな街づくりに参加している菓子店「シュークリーム」や別のフルーツをたっぷり使ったケーキで人気。



「Toma」とベリーな街づくりではイラストマップも作成

ASO Design Center Information

(財)阿蘇地域振興デザインセンターは阿蘇郡12町村の地域振興、観光振興、環境・景観保全、情報発信を行っています。

花 flower

産山村 ヒゴタイ&コスモス祭り

村花ヒゴタイや様々な野草が咲く。9月下旬からは30万本のコスモスが咲きます。
 期間●7月1日(木)～10月31日(日)
 場所●ヒゴタイ公園
 お問い合わせ●ヒゴタイ公園キャンプ村
 TEL0967-25-2777



阿蘇町 阿蘇町秋の三大花祭り ひれあいの郷モーモーファームコスモス園

秋の澄んだ青空の下、400万本のコスモスと牧場体験が楽しめます。
 見頃●9月25日(土)～10月下旬
 場所●モーモーファーム竹原牧場
 お問い合わせ●阿蘇町観光協会
 TEL0967-32-1960



阿蘇町 阿蘇町秋の三大花祭り 内牧小里ひまわり園

50万本のひまわりが阿蘇の山々を背に一面に咲き誇る様は見事。
 見頃●9月25日(土)～10月10日(日)
 場所●内牧小里ひまわり園
 お問い合わせ●阿蘇町観光協会
 TEL0967-32-1960



阿蘇町 阿蘇町秋の三大花祭り 「はな阿蘇美」秋のバラ祭り

600種類8000株の秋のバラが貴賓を迎えます。
 見頃●10月16日(土)～11月上旬
 場所●はな阿蘇美
 お問い合わせ●阿蘇町観光協会
 TEL0967-32-1960



アート art

長陽村 陽の長い一日の村美術館

ミュージカルや子ども劇場、ジャズコンサートのほか、アトリエ、工芸、美術館や各施設での作品展示。
 期間●10月1日(金)～10月31日(日)
 開催場所●長陽村一帯
 お問い合わせ●陽の長い一日の村美術館委員会事務局
 TEL0967-67-1111 (長陽村役場産業振興課内)



波野村 神楽フェスティバル

波野村はじめ県内外の約10団体それぞれがそれぞれの神楽を披露。
 開催日●10月2日(土)、3日(日)
 開催場所●波の御遺跡「神楽苑」
 お問い合わせ●波野村役場企画観光課
 TEL0967-24-2001



久木野村 アートフェアくぎの

工芸や各施設での作品展示や製作体験。スタンプラリーも開催。
 期間●10月9日(土)～17日(日)
 開催場所●久木野村内
 お問い合わせ●久木野村役場企画観光課 TEL0967-67-2111

高森町 大阿蘇絵画展

阿蘇を題材にした200点を超える絵画作品から入賞者が決定。
 開催日●11月3日(水)～7日(日)
 場所●高森町林業総合センター
 お問い合わせ●高森町教育委員会 TEL0967-62-1111

体験 experience

産山村 さつまいも掘り体験

産山村のむかし、しいん空と水で育ったさつまいもの収穫体験。
 期間●9月20日(月)～10月31日(日)
 開催場所●ファームビレッジ産山
 お問い合わせ●ファームビレッジ産山 TEL0967-25-2210

南小国町 黒川温泉感謝祭

江戸時代の参勤交代を再現した行列が温泉街を盛り歩く。
 開催日●10月2日(土)
 開催場所●黒川 ふれあい広場一帯
 お問い合わせ●黒川温泉観光旅館協同組合 TEL0967-42-0078

産山村 新米まつり

有数の産地の水車米をはじめとする産山産新米の販売。
 開催日●10月10日(日)、11日(祝)
 開催場所●花の温泉館
 お問い合わせ●花の温泉館 TEL0967-25-2341

小国町 スギトピアばされ祭

温泉商店街一帯でのレイトウ、秋の味覚満載のバザール。
 開催日●10月16日(土)、17日(日)、18日(月)
 場所●小国町一帯
 お問い合わせ●小国町地域振興課 TEL0967-48-2111

白水村 おあしすフェスタ(産業文化祭)

工芸品の展示や特産物の販売、伝統芸能の披露など。
 開催日●11月7日(日)※日時は予定
 開催場所●白水村体育館
 お問い合わせ●おあしすフェスタ実行委員会(白水村企画観光課内)
 TEL0967-62-9111

阿蘇エコRUNキャンペーン

レンタカーで低燃費エコドライブを実践。成績優秀者には賞品を贈呈。詳しくは九州運輸局へ手をご確認ください。
 期間●10月1日(金)～31日(日)
 お問い合わせ●
 国土交通省九州運輸局ホームページ <http://www.qst.mlit.go.jp/>
 駅レンタカー九州阿蘇駅前営業所 TEL0967-34-1001
 トヨタレンタリース熊本阿蘇赤水店 TEL0967-35-0100